



Vol.7

発行：
平成20(2008)年4月

目次

- <ミックスペーパー特集>
 - ・ミックスペーパー分別収集モデル事業
「平成20年4月から対象地域を拡大して実施中！」
 - ・粗大ごみ収集運搬業務を民間委託しました
 - ・回収されたミックスペーパーはなるのでしょうか？
 - ・ミックスペーパーモデル事業の収集実績（平成19年度）
 - ・その他

平成20年4月から対象地域を拡大して実施中！ ミックスペーパー(雑かみ)分別収集モデル事業

川崎市では、平成18年11月から川崎区浅田3・4丁目、幸区戸手本町1・2丁目の4,200世帯の協力を得て、ミックスペーパー(雑かみ)の分別収集モデル事業を開始し、平成19年4月からは、更に川崎区大島1丁目、京町1・2丁目、殿町1～3丁目、幸区小倉(一部)の1万5,200世帯に拡大して行っています。平成20年4月から、川崎市全区の一部地域で分別収集モデル事業を実施しています。モデル事業の成果を踏まえて、平成22年度中には市内全域でミックスペーパー分別収集を実施する予定です。

ミックスペーパー(雑かみ)とは、どんな紙？

ミックスペーパー(雑かみ)とは…

(例)菓子箱、包装紙、ハガキ、封筒、写真、感熱紙、トイレトペーパーの芯、シュレッダー紙、コピー紙、ポスター、ノート類、割り箸の袋、レシート、ワイシャツの台紙、ティッシュの箱、投函チラシ、パンフレット、リーフレット、ダイレクトメール、タバコの箱など



- ◆ 資源集団回収の対象品目となる新聞紙、雑誌、段ボール、牛乳パック
- ◆ 使用済みのティッシュペーパーや生ごみなどが付着した不衛生な紙
- ◆ 石けんや線香など臭いのついた紙 などは、ミックスペーパーの対象外です。



粗大ごみ収集運搬業務を民間委託しました。

平成20年4月から、より効率的・効果的な事業体制の確立を図るため、市が行っている粗大ごみの収集運搬業務を民間事業者へ委託いたしました。粗大ごみの申し込み方法や処理手数料などは、今までと変更はございません。

また、高齢者等を対象とした「ふれあい収集」については、市が引き続き収集を行います。なお、粗大ごみ及び小物金属の収集日については、祝日を含む月曜日から金曜日までの収集となります。

皆さまの御理解、御協力をお願いいたします。



粗大ごみの収集運搬を行う業者

お住まいの区	管轄の生活環境事業所(電話)	委託業者名
※下記以外の川崎区	南部生活環境事業所(266-5747)	(株)キタジマ
川崎区(※)、幸区	川崎生活環境事業所(541-2043)	小澤商事(株)
中原区	中原生活環境事業所(411-9220)	横浜環境保全(株)
高津区、宮前区	宮前生活環境事業所(866-9131)	(財)川崎市リサイクル環境公社
多摩区、麻生区	多摩生活環境事業所(933-4111)	(株)ハッピー運輸倉庫

※加町、池田、砂子、駅前本町、榎町、小川町、員厚、京町1-2丁目、境町、下草木、新川通、幹木町、堤親、日進町、東田町、富士見、堀之内町、本町、港町、南町、宮前町、宮本町、元木

粗大ごみの
申し込み先

電話：930-5300 FAX：930-5310(聴覚等障がいのある方専用)

※市ホームページからも
お申し込みできます。

回収されたミックスペーパーはどうなるのでしょうか？

市内で回収されたミックスペーパーは、川崎区臨海部の三栄レギュレーター株式会社に搬送され、トイレットペーパーの原料として利用されます。この会社は、川崎市が推進しているゼロエミッション工業団地の中核企業であり、再生利用が困難な難再生古紙をリサイクルできる特許を有しています。また、処理過程で生じる焼却灰や金属類の再生利用、廃プラスチックのサーマル（余熱）利用等、廃棄物のゼロエミッションを図っています。

回収したミックスペーパーの処理工程

回収されたミックスペーパーは、これまでリサイクルが困難であった難再生古紙も含め、次のような処理工程を経て、トイレットペーパーとして再利用されます。

回収

分別回収されたミックスペーパーが施設に搬入されます。

溶解

回収されたミックスペーパーは、ベルトコンベアでパルパーと呼ばれる溶解槽に落とされ、水でかき混ぜられ、細かい紙の繊維（パルプ）に戻されます。



パルパー

精選

パルパーで細かくほぐされたパルプに混入しているプラスチックやクリップ、ホチキス等の異物を取り除きます。

脱墨

パルプを繰り返し洗浄してインクを取り除き、きれいなパルプにします。

抄紙

水を含んだパルプを薄くのばして乾かします。

加工

紙にプリント、エンボス（紙の表面にでこぼこをつける）加工し、製品の大きさにカットします。



三栄レギュレーター(株)
東京工場の所在地：川崎市川崎区水江町6番10号



施設見学会

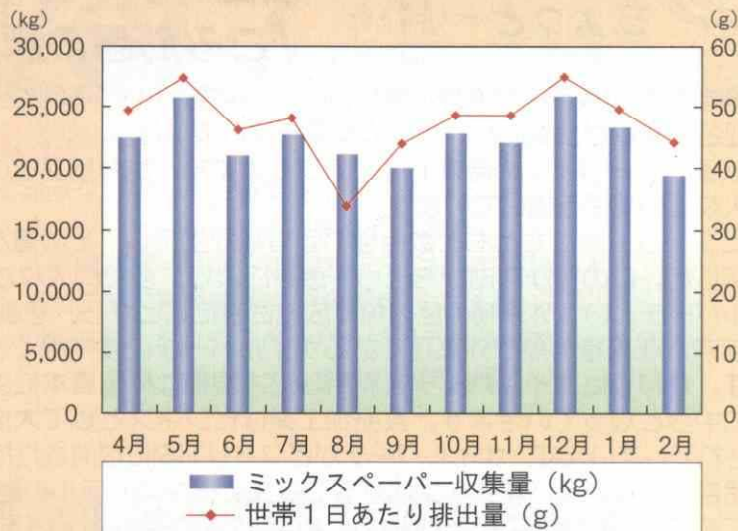
平成20年1月30日に行った三栄レギュレータ施設見学会の風景（ミックスペーパーモデル事業に参加いただく中原区の町内会の皆さんと一緒に）



ミックスペーパーを原料に使ったリサイクルトイレットペーパーの完成です！

ミックスペーパーモデル事業の収集実績(平成19年度)

平成19年度(平成20年2月現在)のミックスペーパー分別収集モデル事業対象地域(川崎区は殿町1~3丁目、浅田3,4丁目、京町1,2丁目、大島1丁目、幸区は小倉(一部)、戸手本町1,2丁目が対象)におけるミックスペーパー収集実績量は、約227トン(月平均月20.6トン)でした。また、対象世帯ごとのミックスペーパー排出量は、1日あたり約45グラム/世帯でした。



※ なお、1世帯あたりのミックスペーパー排出量は、「月間の収集量÷収集日数÷世帯数」にて算出

Q ミックスペーパーはどのくらいあるの？

A 家庭系ごみの約10%がミックスペーパーだと考えられています。市全体で毎年約3万トンものミックスペーパーが出されている計算になります。

Q ミックスペーパーはどうやって集めるの？

A 民間の収集運搬業者が、ごみ塵芥車(パッカー車)で収集し、市内のリサイクル工場(三栄レギュレーター)に運びます。また、北部地域(高津区、宮前区、多摩区、麻生区)では、JR梶ヶ谷駅で積み替えを行い、鉄道で工場まで運び予定です。

Q ダイレクトメールなどの個人情報が載っているものは出したくないのですが？

A 個人情報などが載っていてミックスペーパーとして出したくない時は、普通ごみとして出してください。リサイクルにご協力いただける場合は、部分的に切り取ったり、シュレッダーにかけたり、黒く消すなどしていただいたうえで、お出してください。



Q モデル事業の対象地域はどこですか？

区	A ミックスペーパー(雑かみ)の分別収集モデル事業の対象地域
川崎	浅田1~4丁目、池田1,2丁目、江戸川1,2丁目、大島1丁目、大島上町、小田4丁目、京町1,2丁目、京町3丁目、塩兵1丁目、下並木、田町1,2丁目、殿町1~3丁目、日ノ出1,2丁目、渡田1~4丁目、渡田東町
幸	遠瀬町、小倉、河原町、河原町団地1~9号棟、河原町団地12~15号棟、紺屋町、神明町1,2丁目、戸手本町1,2丁目
中原	井田三舞町、井田杉山町、上丸子天神町、木月伊勢町、木月住吉町、小杉陣屋町、下小田中5,6丁目、下沼部、宮内
高津	梶ヶ谷、坂戸
宮前	馬絹、小台
多摩	長尾、中野島多摩川住宅、生田
麻生	片平、黒川、はるひ野、南黒川

※その他ミックスペーパーモデル事業についてご不明な点等ありましたら、お近くの生活環境事業所へお問い合わせください。



ちょっと一息...

映画「ダーウィンの悪夢」を見て… 「ごみ問題の悪夢」に陥らないために

さまざまなメディアで環境問題がテーマに取り上げられていますが、つい最近も「ダーウィンの悪夢」という題名の映画が公開され、大きな反響を呼びました。

映画「ダーウィンの悪夢」は、アフリカ中部、世界第2位の広さを誇るビクトリア湖とその周辺地域に生きる人々との関係を描いています。

ビクトリア湖はもともと数百種の固有種が生息し、その豊かな生態系から「ダーウィンの箱庭」と称されていました。この豊かな湖がもたらす恵みにより、多くの人々が日々の糧を得てきたのですが、50年ほど前にナイルパーチという外来種の巨大魚が放流されたことから、悲劇の連鎖が始まります。

まず、在来種の魚が外来種であるナイルパーチに食べ尽くされ、自給自足的な地域経済が破壊されてしまいます。かわりにナイルパーチを利用した大規模な外国資本による食品加工工場が周辺の町に建てられ、地元経済の中心となっていきます。食品加工業はビジネスとして大成功しますが、その利益の大半は一部の人々に独占されてしまいます。ナイルパーチがビクトリア湖に放流されたことは、結果として、多くの地元住民にとって、自給自足に基づく伝統的な生活基盤の喪失と様々なモラルの崩壊をもたらしました。

この映画が暗示している問題は、実は私たちが直面している「ごみ問題」にあてはめてみるすることができます。例えば、50年前（1950年代後半）と2008年を比較すると、私たち日本人の生活習慣や生活環境は大きく様変わりしています。現在では、コンビニエンスストアで24時間、いつでもペットボトルの飲み物やプラスチック製の包装容器に入った弁当・惣菜が手に入ります。また、オフィスでは、手軽に大量の印刷ができるコピー機やプリンターが普及し、毎日大量の紙が消費され、ファストフードやファミリーレストランでは、食べ残された大量の生ごみが出され、家電量販店では様々な新製品が売られています。

50年前はどうだったでしょうか。例えば、故障したテレビやラジオなどの電気製品や時計などは、近所の電気屋さん、時計屋さんが修理してくれましたし、酒屋さんは、家まで御用聞きにやってきては、飲み終わったビール瓶のケースを持って帰ってくれました。お豆腐屋さんや八百屋さんでは、必要な分だけ食材を買うことができましたし、買い物の時には買い物かごが使われていました。結果として、発生するごみは、現在よりはるかに少ない量ですんでいました。

日本にとっての「ナイルパーチ」＝「大量生産・大量消費に基づく使い捨ての文化・経済」が日本に導入され、普及し始めたのが、1950年代の高度経済成長期です。結果、日本は豊かな生活を手に入れましたが、一方で失ってしまったものもたくさんあります。ダーウィンが本当に夢見ていたものは何なのか、「ごみ問題の悪夢」に陥らないための知恵が今、求められています。



ごみの減量・リサイクルに役立つ情報をお待ちしています！

平成17年度に発行を開始した3Rニュースも今回で第7号を数えました。3Rニュースでは、市民の皆さんが日々行っている、ごみの減量・リサイクルに向けた取り組みについても広く紹介していきたいと考えています。ごみの減量・リサイクルに役立つ情報、町内会等で行っているユニークな取り組み等ございましたら環境局廃棄物政策担当までどしどしお寄せください。

ごみ減量・リサイクル推進の ボランティアリーダー 廃棄物減量指導員にご協力ください。

廃棄物減量指導員は市長から委嘱され、ごみ排出方法の遵守指導や、ごみ減量の普及啓発などの活動を行っている地域のボランティアリーダーです。



編集後記



春先は入学や卒業、就職や転職で引越しが多くなる季節ですが、先日仕事の都合で引越しをする友人を手伝う機会がありました。読者家である友人は、大量の書籍をコレクションしていたのですが、転勤先に全てを持っていけないため、大切にしていた書籍の大半を手放すことになりました。ただ、売ったり、捨てたりはせず、全て仲間うちで引継がれることになりました。一冊一冊にこめられた思い出も一緒に引継いだようで、これからも大切に読み継いでいければ、と思っています。(F)

編集・発行／ 〒210-8577（住所はなくても届きます） 川崎市環境局廃棄物政策担当
（電話） 200-2580 （電子メール） 30haise@city.kawasaki.jp
ごみ・リサイクルに関するHP/<http://www.city.kawasaki.jp.30/30genryo/home/menu/htm>